

事業報告書

(自 令和 2 年 1 1 月 1 日 至 令和 3 年 1 0 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人 社団 箆上袴田外科医院
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度採用 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、
該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 静岡県静岡市葵区箆上 1 3 番 2 0 号
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和 6 3 年 1 2 月 2 3 日
- (4) 設立登記年月日 昭和 6 3 年 1 2 月 2 3 日

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 42 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	袴田外科医院	静岡県静岡市葵区箆上 1 3 番 2 0 号	一般病床 0 床

- 注) 1. 地方自治法第 244 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を [] 書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 2 年 1 2 月 2 5 日	令和 1 年度決算の決定
同	資産の総額
令和 3 年 1 0 月 2 3 日	令和 3 年度の事業計画及び収支予算の決定

様式 2

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 社団 菴上袴田外科医院

所在地 静岡市葵区菴上 1 3 番 2 0 号

財 産 目 録

(令和 3 年 1 0 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	568,780	千円
2. 負 債 額	27,764	千円
3. 純 資 産 額	541,016	千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	355,391
B 固 定 資 産	213,389
C 資 産 合 計 (A + B)	568,780
D 負 債 合 計	27,764
E 純 資 産 (C - D)	541,016

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 3 - 2

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 社団 箆上袴田外科医院

所在地 静岡県葵区箆上 1 3 番 2 0 号

貸 借 対 照 表

(令和 3 年 1 0 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	355,391	I 流 動 負 債	27,764
II 固 定 資 産	213,389	II 固 定 負 債	0
1 有 形 固 定 資 産	26,707	負 債 合 計	27,764
2 無 形 固 定 資 産	701	純 資 産 の 部	
3 その他の資産	185,981	科 目	金 額
		I 出 資 金	10,000
		II 積 立 金	531,016
		III 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	541,016
資 産 合 計	568,780	負債・純資産合計	568,780

法人名 医療法人 社団 箒上袴田外科医院

所在地 静岡県葵区箒上13番20号

損 益 計 算 書

(令和 3年 10月 31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	225,670
2 事業費用	214,828
本来業務事業利益	10,842
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	0
事業利益	10,842
II 事業外収益	5,459
III 事業外費用	0
経常利益	16,301
IV 特別利益	8,898
V 特別損失	3,076
税引前当期純利益	22,123
法人税等	4,918
当期純利益	17,205

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。